SEKISUI セキスイ ユーリッチ

電気温水器

取扱説明書

時間帯別電灯（通電制御型）/深夜電力8時間（通電制御型）　切替式

給湯専用

型式

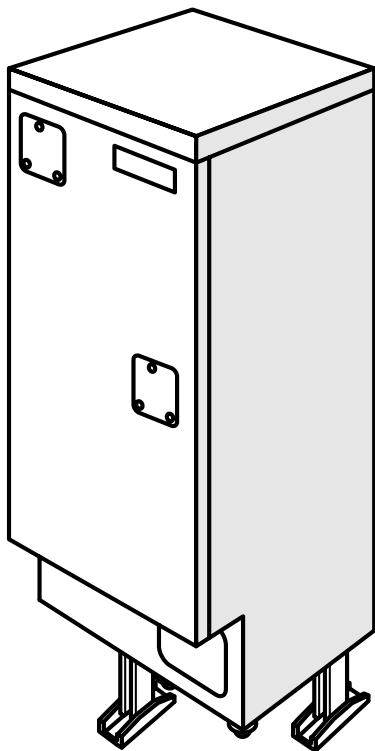
高圧力型

KSH-46MK1（ケイ エスエイチ　エムケイ）

KSH-37MK1（ケイ エスエイチ　エムケイ）

KSH-30MK1（ケイ エスエイチ　エムケイ）

標準圧力型

KS-37MK1（ケイ エス　エムケイ）

※イラストはＫＳＨ-37ＭＫ1です。

＊このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
＊この商品を安全に正しくご使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解してください。
＊保証書は必ずお受け取りください。
＊お客様ご自身では据え付けないでください。
安全や機能の確保ができません。

もくじ

＊印の項目は、別売品台所リモコンを接続した場合のみお使いいただけます。

この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引きが適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談の上、申請をおこなってください。（買い換えなどで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。）

1 はじめに

安全上のご注意

○ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

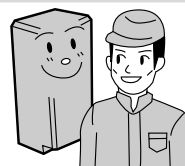
○図記号の説明

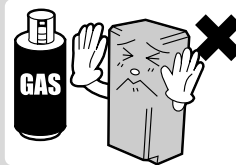
図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁止	⃠ は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	● は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

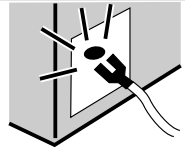
据付時・移設時・修理時のご注意

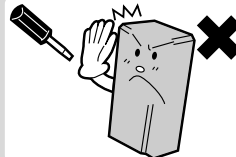
⚠ 警告(WARNING)

専用業者

●据え付けは販売店または工事店に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。

禁止

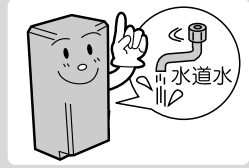
●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。
発火や火災になることがあります。

アース工事

●アース工事を確認する。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。

禁止

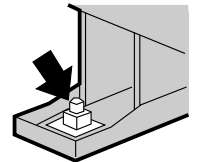
●ご自分での修理・改造や再設置はおこなわない。
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

⚠注意(CAUTION)

上水道

●水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）

水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では電気温水器の使用をお避けください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。

確認

●電気温水器脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。

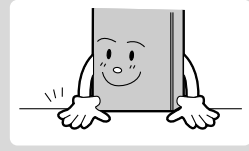
台風や地震のとき、電気温水器が倒れてけがをすることがあります。

禁止

●塩害の恐れのある海岸付近や腐食性ガス発生の恐れのある温泉地には設置しない。

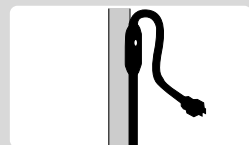
機器故障の原因になります。

確認

●床面が防水・排水処理されているか確認する。

水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。

確認

●配管の凍結防止対策を確認する。

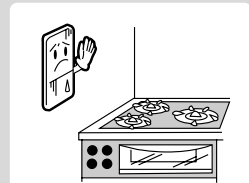
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

施工確認

●電気温水器・台所リモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認する。

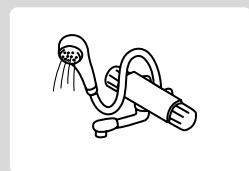
火災・感電の原因となります。

施工確認

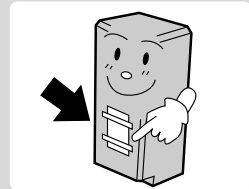
●リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取り付けられていないことを確認すること。

変色、変形、火災の原因になります。

確認

●シャワー水栓は必ずサーモスタット付き湯水混合栓を使用する。

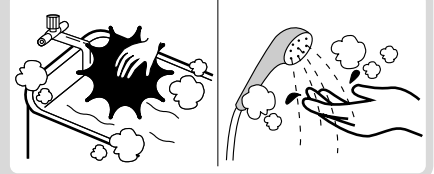
サーモスタット付き湯水混合栓を使用しないと、やけどの原因になります。

説明書添付

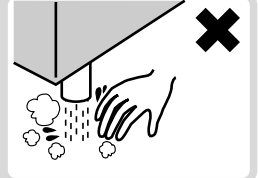
●お使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください。

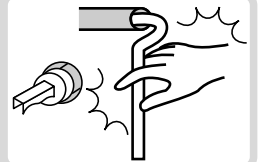
安全上のご注意

使用時のご注意

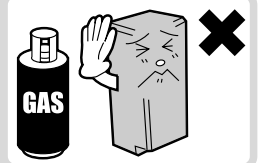
⚠警告(WARNING)

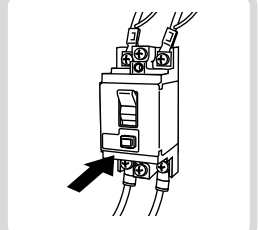
確認

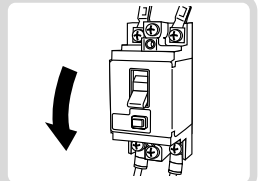
●入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
●お湯を使う前には湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

やけど注意

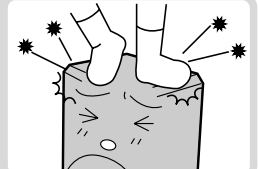
●排水時および取水時にはお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

やけど注意

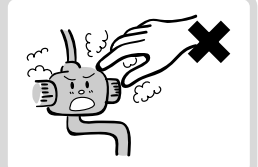
●負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

禁止

●近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。

動作確認

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。

確認

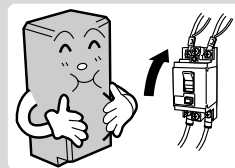
●異常時は漏電ブレーカの電源レバーをさげて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。

禁止

●電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。

手をふれない

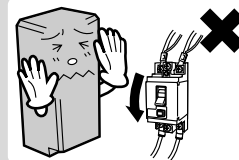
●給湯時は給湯栓本体に手を触れないこと。
やけどすることがあります。
朝、最初に給湯栓を開くときに蒸気が吹き出ることがあります。
給湯栓は少しずつ開いてください。

⚠注意(CAUTION)

満水確認

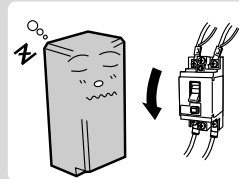
●電気温水器を満水にしてから電源を入れる。

満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

禁止

●電源を「OFF」にしない。

冬期は凍結して機器が破損することがありますので、電源を「OFF」にしないでください。

電源確認

●1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。

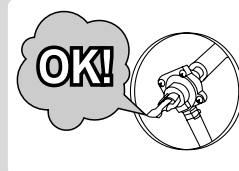
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。浴槽のお湯も排水してください。

カバーは閉

●電気温水器の点検ふたは閉じる。

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

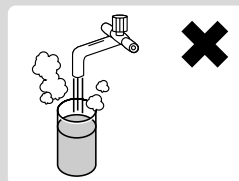
点検

●負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。

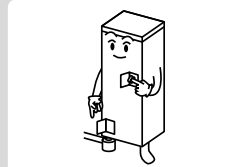
点検しないと電気温水器や配管が破損したり、弁部にゴミが付着し閉止不良により負圧弁付圧力逃し弁から湯が排出されることがあります。

禁止

●飲用に用いない。

長期間のご使用により、缶体内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

・必ず水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、直ちに点検の依頼をおこなってください。

熱湯排水禁止

●電気温水器の熱湯は直接排水しないこと。

やけどをすることがあります。
排水配管が損傷することがあります。
水で薄めてから流してください。

漏水点検

●水漏れを点検すること。

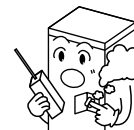
とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常点検をしてください。

異　常　時　の　注　意

⚠警告(WARNING)

電源を切る

●異常時（こげ臭い、缶体保護弁からの水漏れ等）は、漏電ブレーカのレバーをさげて電源を「OFF」にして、お買い上げの販売店または株式会社コロナへ連絡すること。

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。

電気温水器本体

機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

点検ふた

逃し弁の操作や点検をするときに開けます。

負圧弁付圧力逃し弁

レバー

壁固定金具

地震のときに電気温水器の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

点検ふた

漏電ブレーカの操作や点検をするときに開けます。

【高圧力型】

漏電ブレーカ

テストボタン

【標準圧力型】

テストボタン

漏電ブレーカ

湯温切替スイッチ

前扉

460Ｌタイプは、上下２枚にわかれています。

取扱表示

電気温水器の型式名や取扱い上の注意などが記載されています。

接続口・水抜き栓

長期間使用しないときなど電気温水器の配管の水抜きをするときに操作します。

（高圧力型→23～24ページ
標準圧力型→37～38ページ）

排水バルブカバー

排水バルブを操作して電気温水器の水を排水するときに開けます。

排水バルブ

缶体保護弁

脚

配管カバー・脚カバー

別売部品。はずし方は、下図参照。

非常用取水栓

非常時に電気温水器内の水（お湯）を生活用水として利用できます。

非常用取水栓

ドレンパンドレン口

結露水や万一漏れが発生したときに水を排水します。

排水口

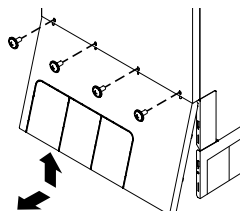
逃し弁、排水バルブからお湯を排出します。
（沸上げ中は、逃し弁から水が少量出ますが、故障ではありません。）

配管カバー・脚カバーのはずし方

（カバーの端面で手を切らないように注意してください。）

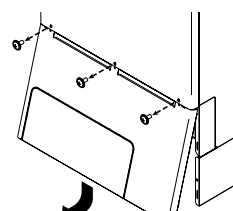
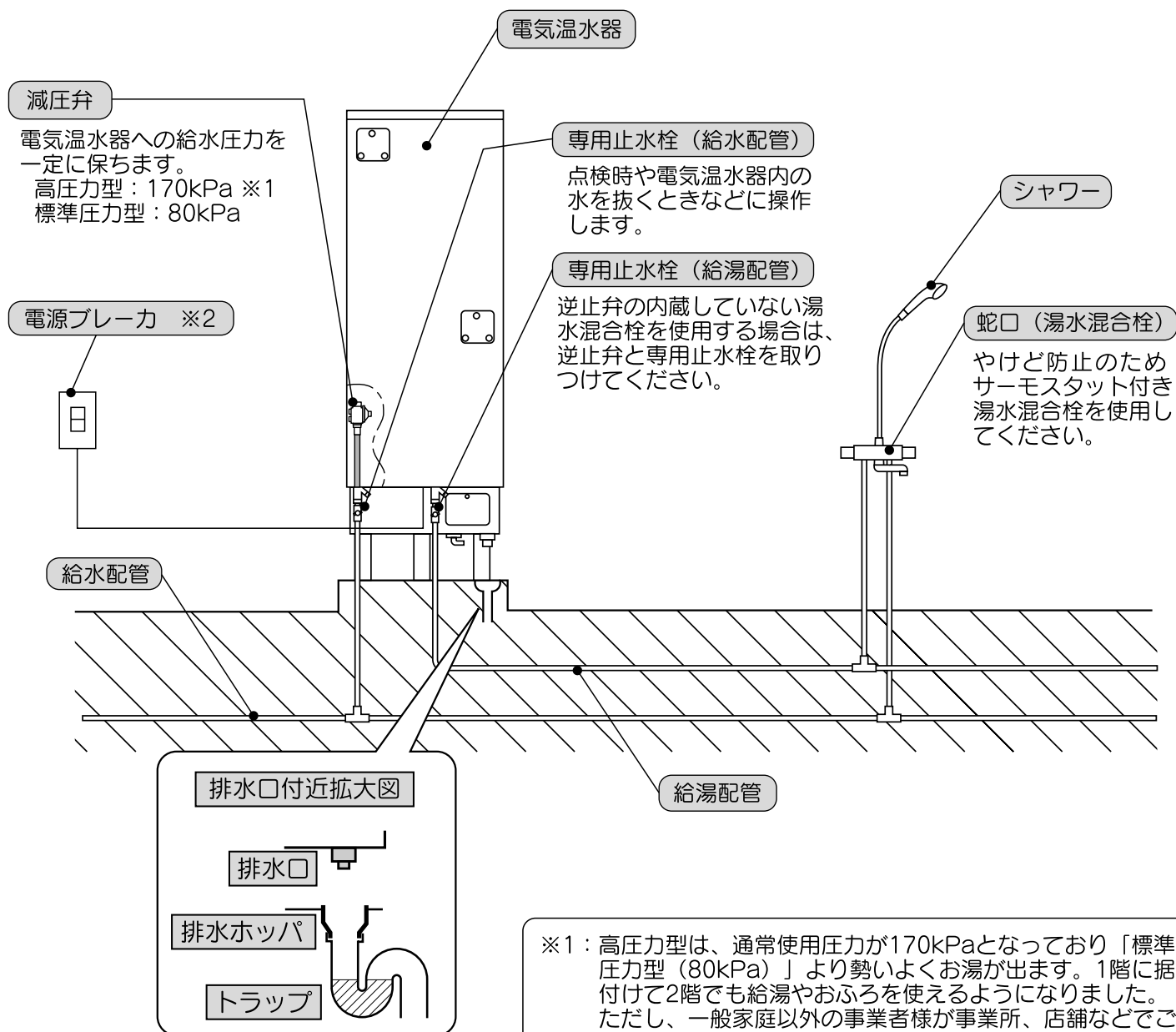
370Ｌタイプ／300Lタイプ

1）ネジを4本はずす。
（300Ｌタイプのネジは、3本です。）

2）カバーを上方へずらしてツメをはずし、手前に引く。

460Ｌタイプ

1）ネジを3本はずす。

2）カバーを下方へずらしてツメをはずし、手前に引く。

各部のなまえとはたらき

システム全体の配管概要

※1：高圧力型は、通常使用圧力が170kPaとなっており「標準圧力型（80kPa）」より勢いよくお湯が出ます。1階に据付けて2階でも給湯やおふろを使えるようになりました。ただし、一般家庭以外の事業者様が事業所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の基準があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問合せください。（→46～48ページ）

※2：深夜電力契約の場合には、電源ブレーカはヒータ通電用と制御用の2つあります。また、制御用は100Ｖの場合もあります。詳細は、工事店へご確認ください。

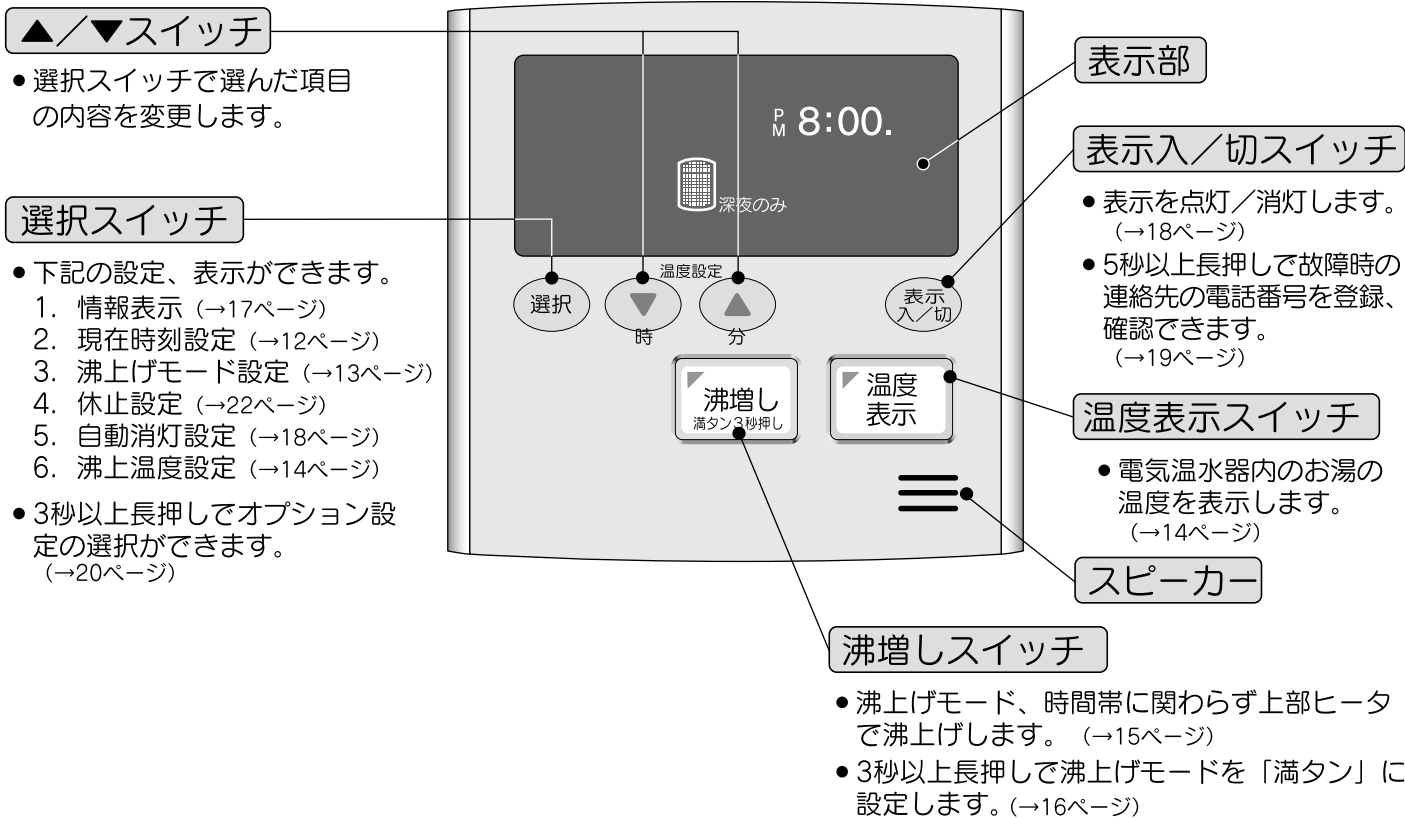
お願い

- ●水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- ●逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合は、負圧弁付圧力逃し弁よりお湯が排水される場合がありますので、逆止弁と専用止水栓（給湯配管）を取りつけてください。

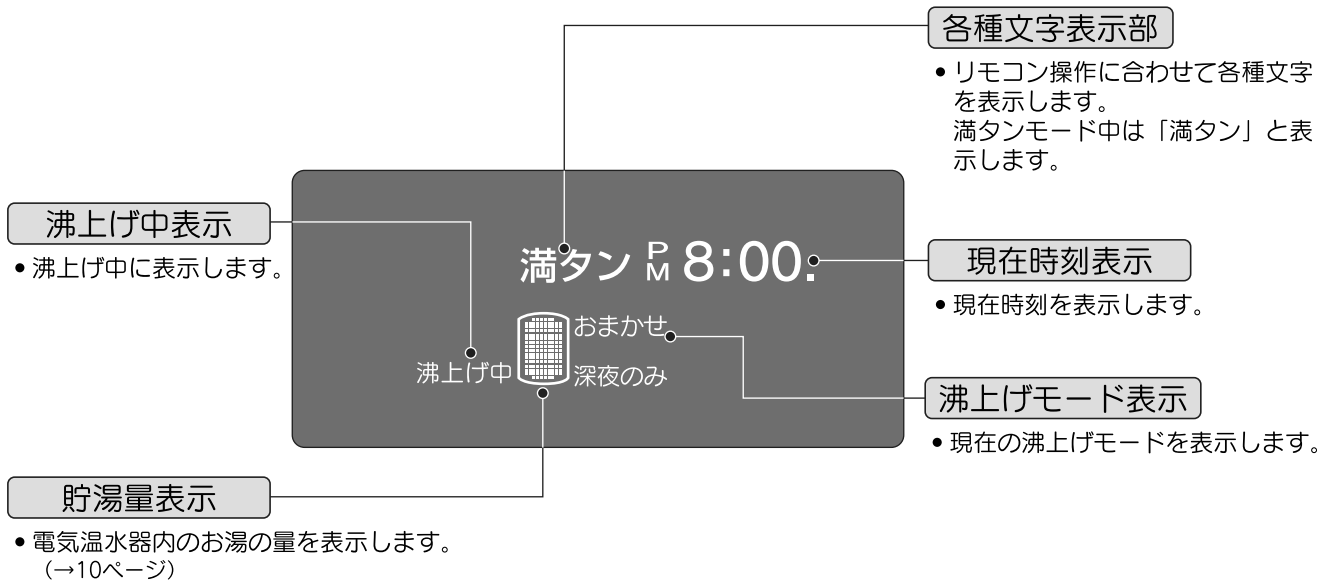
お知らせ

- ●シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

台所リモコン 〈 高圧力型 〉

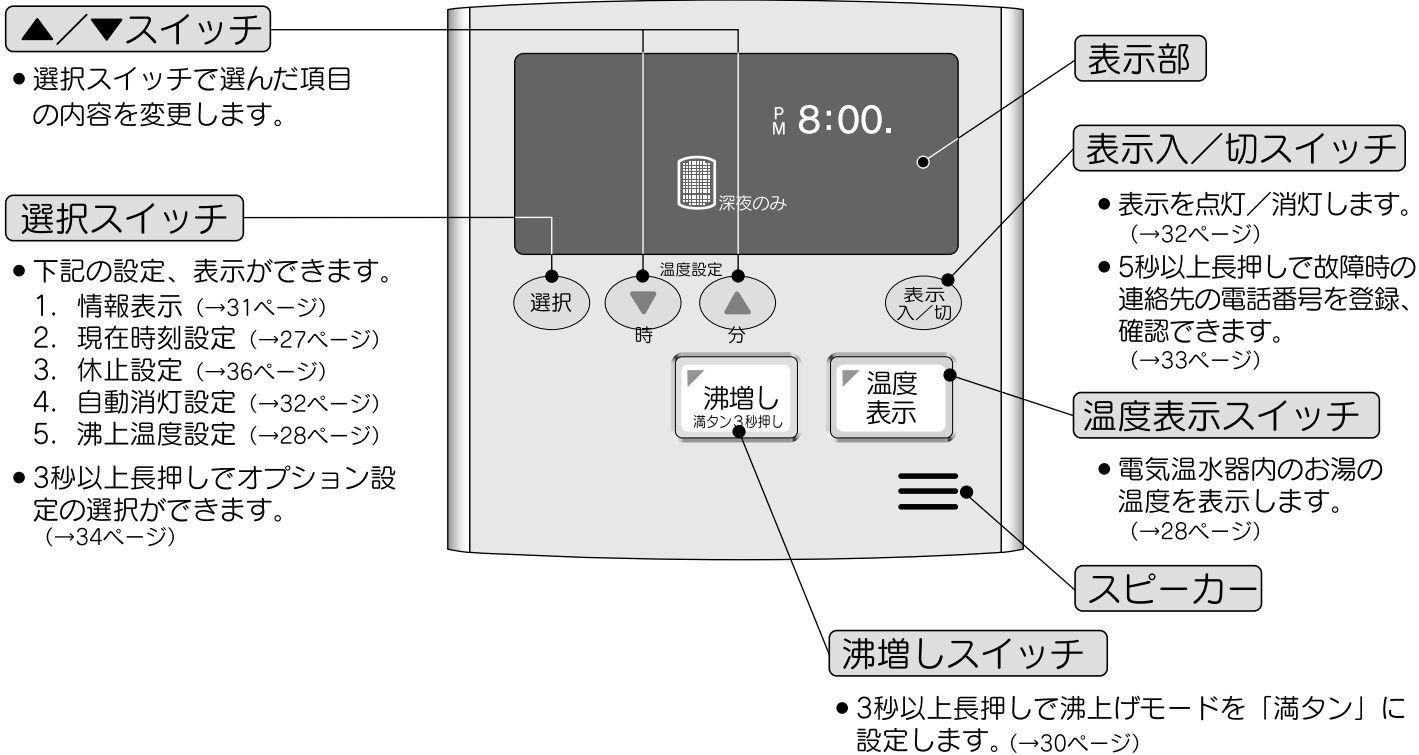
●本ページは、高圧力型の台所リモコンを説明しています。
標準圧力型をご使用のお客様は、9ページをお読みください。

表示部

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。（ただし、各種文字表示部は一部点灯状態です。）

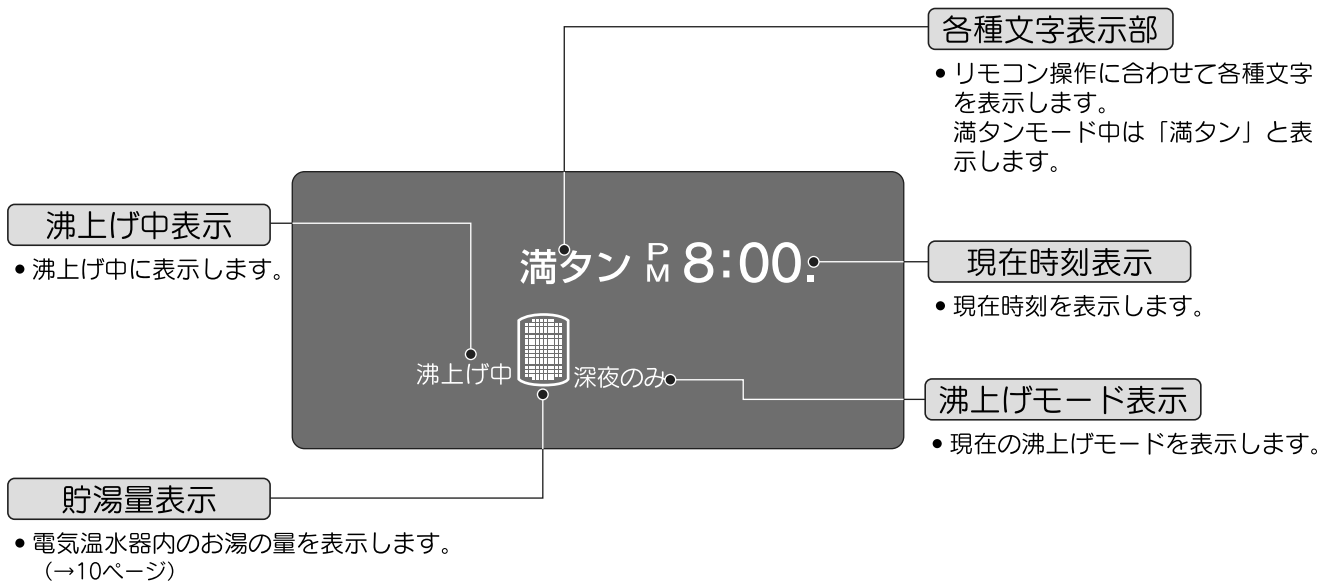
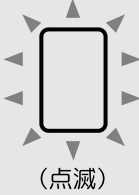
お願い

●**台所リモコンに水をかけないでください。**

防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

台所リモコン 〈 標準圧力型 〉

●本ページは、標準圧力型の台所リモコンを説明しています。
高圧力型の機種をご使用のお客様は、8ページをお読みください。
●標準圧力型の台所リモコンは、別売品です。

表示部

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。（ただし、各種文字表示部は一部点灯状態です。）

お願い

●**台所リモコンに水をかけないでください。**

防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

貯湯量表示について

○貯湯量表示は、電気温水器内のお湯の量を目安で次のように表示しています。

貯湯量表示と機能の制限

貯湯量表示（約50℃以上のお湯の量）	貯湯量表示点滅（点滅）	貯湯量表示1本点滅（点滅）	貯湯量表示1本	貯湯量表示2本	貯湯量表示4本
貯 湯 量 （目安）	20Ｌ未満	20Ｌ以上	50Ｌ以上	115Ｌ以上	200Ｌ以上

お知らせ

●貯湯量表示は、約50℃以上のお湯の量を段階的に示しています。使用可能湯量は、情報表示で確認できます。（高圧力型→17ページ、標準圧力型→31ページ）

●お湯を使用しなくても、電気温水器内のお湯の温度は、配管からの放熱などにより時間の経過とともに低下し、貯湯量表示が減ることがあります。
（外気温度や風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）で約5～10℃程度低下します。お湯が漏れているために貯湯量表示が減ったわけではありません。）

湯切れを防止するためのお願い

●湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に 選択 で1.情報表示を選び「使用可能湯量」の確認をおこなってください。（高圧力型→17ページ、標準圧力型→31ページ）
貯湯量が不足しそうなときは、高圧力型の機種は、事前に「沸増し」を利用してください。（→15ページ）

●外泊などによって一日以上お湯を使用されなかったときは、たくわえられたお湯の温度が低下し、早めに貯湯量表示が減少することがあります。

●安価な深夜電力でお湯を貯めて、上手に使っていただく温水器です。使いすぎに注意してください。

2 使い方（高圧力型）

はじめてご使用になるとき

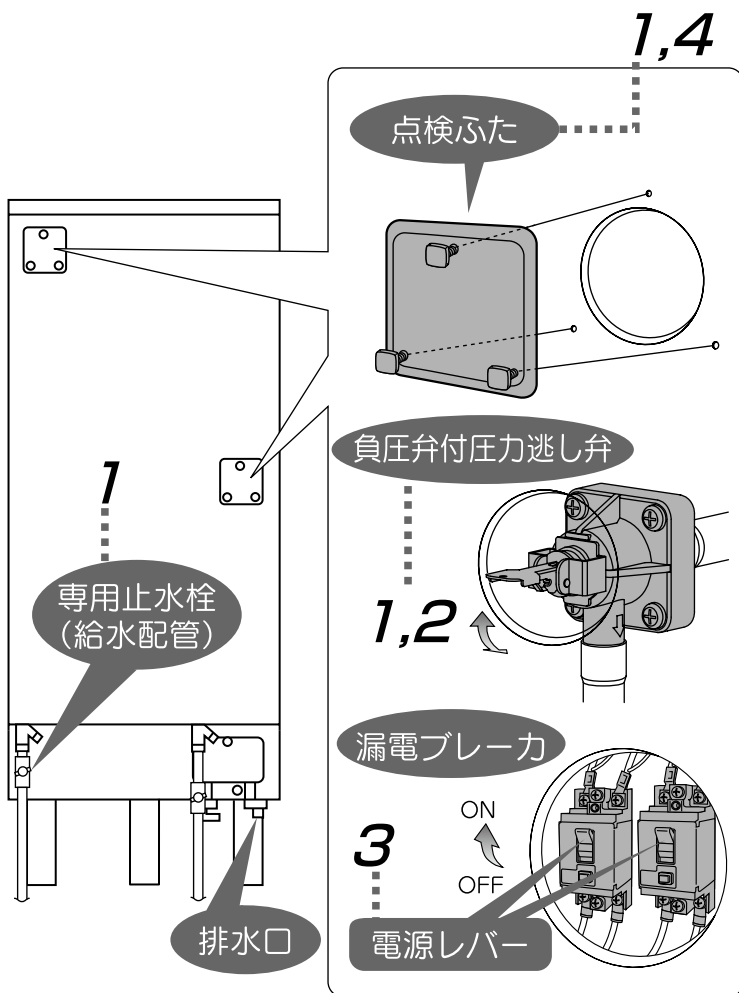
2（11～25ページ）では、高圧力型機種の使い方を説明しています。標準圧力型機種をご使用のお客様は3（26～39ページ）をお読みください。

○電気温水器を満水にし、電源を入れます。

⚠警告

●ぬれた手で漏電ブレーカを操作しない。レバー以外には手を触れない。
感電の恐れがあります。

⚠注意

●電気温水器を満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。
●電気温水器の点検ふたは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）をはずし、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげ、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●電気温水器に水を入れます。

2. 電気温水器が満水になったら、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを戻します。

●排水口から水が出てきたら満水です。
●満水までの目安は約30分です。
●給湯配管内の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開きます（1箇所）。空気が抜けたら、蛇口を閉じてください。（参考図参照）

3. 電源ブレーカを「入」にし、漏電ブレーカの電源レバーを「入」にします。

4. 電気温水器の点検ふた（2箇所）を元どおり取りつけます。

5. 台所リモコンで時刻合わせをします。

●「時刻を合わせてください」と音声と表示でお知らせします。
●▼(時)と▲(分)で現在時刻を合わせます。
●(選択)を押します。「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
●時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を夜の12時は「AM12：00」を表示します。

〈参考図〉
給湯配管の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1箇所）
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

2バルブタイプ	シングルレバータイプ	サーモスタットタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く	お湯側にレバーを回してあげる（さげる）	湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く

（空気が抜けたら蛇口を閉じてください。）

時刻合わせ

○現在時刻の設定をします。
○「時間帯別電灯」でご契約のお客様は設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。停電などで時刻が「－－：－－」表示のままでは、沸上げができません。

■台所リモコン

1,3　2

●はじめてお使いになるとき
●停電や電源「切」の状態が長時間続いたとき
→ 手順2．から設定をしてください。（電源を入れると自動的に設定画面を表示します）

1.　「2．現在時刻設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。

■台所リモコン表示部

2.　▼時 と ▲分 で現在時刻を合わせます。

●ボタンを押し続けると連続して替わります。

お知らせ

●時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を、夜の12時は「AM12：00」を表示します。

3.　選択 を押します。

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約1分以上経過すると、自動的に設定が完了します。

■台所リモコン表示部

お願い

●約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、時刻表示は「－－：－－」を表示しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
●時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認をおこない時刻の修正をしてください。

沸上げモードの設定

○ご使用湯量に合わせて、沸上げモードを設定することができます。
○お買い上げ時の設定は、「深夜のみ」モードです。
（沸上げモードの設定は「時間帯別電灯」でご契約のお客様がご利用できる機能です。「深夜電力」でご契約のお客様は、「おまかせ」モードはご利用できません。）

■台所リモコン

1. **「3．沸上げモード」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

2. **▼（時）または ▲（分）を押して、沸上げモードを切り替えます。**

深夜のみ ⟷ おまかせ

3. **選択 を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

■沸上げモードの違いは次のようになっています。
（どちらのモードも一度設定すると設定された沸上げモードで毎日沸上げます。）

沸上げモード	沸 上 げ 動 作 内 容
深夜のみ	・深夜時間帯のみ、沸上げをおこないます。 （給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、深夜時間帯になってもすぐに沸上げをおこないません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸上げを完了させます。） ・深夜時間帯以外で自動的な沸上げはおこないません。 （急な来客などでお湯を大量に使用し、湯切れの心配があるときは沸増しを使用してください。）
おまかせ	・湯切れを起こしにくくするため、深夜時間帯以外でも自動的に沸上げをおこないます。 →深夜電力終了時刻から2時間経過までは、一定量のお湯を使用したら下部ヒータをオンして満タンに沸上げお湯を確保します。 2時間経過後は、貯湯量が減少したら（目安として貯湯量表示が1本になったら）、上部ヒータをオンして貯湯量表示が2本となるまで沸上げます。（貯湯量表示→10ページ） ・深夜時間帯以外の自動沸上げは、昼間の電力でおこなうため、電気料金が割高になります。

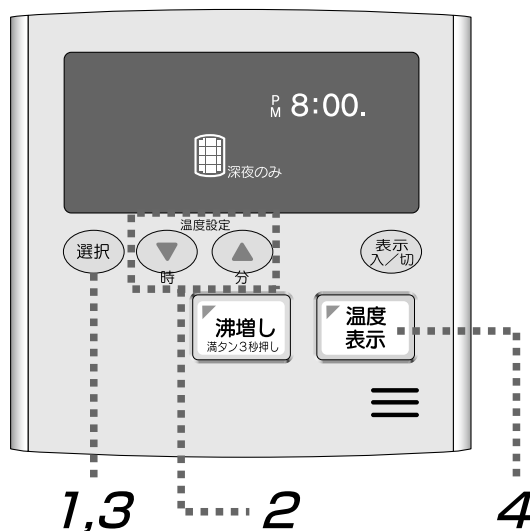
ご参考

●上記沸上げモード以外に、リモコンの 沸増し（満タン3秒押し） を押すと以下のような沸上げをおこなうことができます。
●深夜時間帯以外に沸上げをおこなうと、電気料金が割高になります。

沸上げモード	沸 上 げ 動 作 内 容
沸増し （→15ページ）	・上部ヒータをオンして貯湯量表示が2本になるまで沸上げます。 ・一度沸上げを完了すると、自動的に解除し、動作前の沸上げモードに戻ります。
満タン （→16ページ）	・連続して大量のお湯を使うときに便利なモードで、一定量のお湯を使用したら下部ヒータをオンして電気温水器の湯量を満タンに保ちます。 ・設定された日の午後11時頃になると、自動的に満タンモードを解除し、設定前の沸上げモードに戻ります。

沸上げ温度の設定と貯湯温度表示

○ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度の設定ができます。
○お買い上げ時の設定は、「高」です。
○電気温水器内に残っているお湯の温度を確認できます。

■台所リモコン

沸上げ温度の設定

1. **「6．沸上温度設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

2. **▼(時) または ▲(分) を押して、沸上げ温度を切り替えます。**

沸上温度設定	沸上げ温度（目安）
自動	約65℃～約85℃ 給水温度に応じて沸上げる温度を自動調整します。
低	約65℃に固定します。
高	約85℃に固定します。

3. **選択 を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

貯湯温度表示

4. **温度表示 を押します。**

●現在の電気温水器上部のお湯の温度（目安）を表示します。
●そのまま10秒経過すると通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

貯湯温度75℃

湯切れしそうなとき（沸増し）

○湯切れしそうなとき（目安として貯湯量表示が点滅したとき）は、沸増しを使用して電気温水器のお湯を沸増してください。
（沸増しは「時間帯別電灯」でご契約のお客様は24時間利用できますが、「深夜電力」でご契約のお客様は深夜時間帯のみのご利用となります。）

■台所リモコン

1. 沸増し **を押します。**

●「沸増しします」と音声でお知らせし、「沸増し」と「沸上げ中」を表示します。
●貯湯量表示が2本になるまで沸上げたら、沸増しは終了します。
（貯湯量表示が2本になった直後に沸増しをおこなったときは、完全に沸上がらないことがあります。）

■台所リモコン表示部

2. **途中でやめるときは、もう一度** 沸増し **を押します。**

お知らせ

●沸増しを押したとき、1回のみ沸上げをおこないます。
●昼間時間帯で沸増しを使用すると、電気料金は割高になります。
●沸増しは、貯湯量表示が2本になるまで沸上げるか、4時間経過すると自動的に終了します。
●リモコンに「休止中」を表示している場合は、沸増しできません。
●時刻未設定時は、沸増しできません。

お湯がたくさん必要なとき（満タン）

○大量のお湯を連続して使用するときに、電気温水器のお湯を満タンに保ちます。（満タンモードは昼間時間帯のみの機能ですので「時間帯別電灯」でご契約のお客様のみご利用できます。「深夜電力」でご契約のお客様はご利用できません。）

■台所リモコン

1. 沸増し（満タン3秒押し） **を３秒以上押します。**

- 「満タンに沸上げます」と音声でお知らせし、「満タン」と「沸上げ中」を表示します。すでにお湯が満タンの場合は、「沸上げ中」は表示しません。
- 満タンモード設定中は、沸上げモード「おまかせ」「深夜のみ」の表示は消灯します。
- 設定した日の午後11時頃になると、自動的に満タンモードを解除し、設定前の沸上げモードに戻ります。

2. **途中でやめるときは、もう一度** 沸増し（満タン3秒押し） **を押します。**

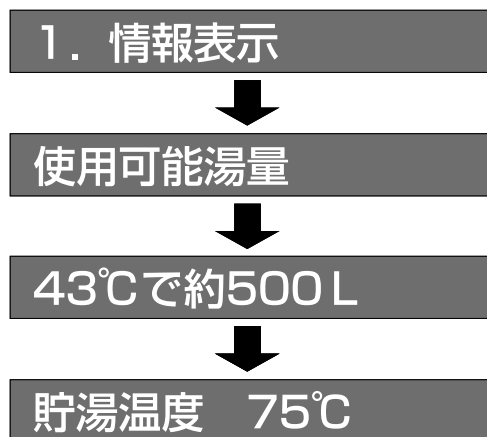
■台所リモコン表示部

お知らせ

- 「満タンモード」を使用すると、電気料金は割高になります。
- リモコンに「休止中」を表示している場合は、満タンモードに設定できません。
- 時刻未設定時は、満タンモードに設定できません。

情報を見る

○使用可能湯量、貯湯温度を表示します。（表示される内容は、目安です。）

■台所リモコン

1. **「1.情報表示」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

●3秒ごとに自動で表示が切り替わります。

■台所リモコン表示部

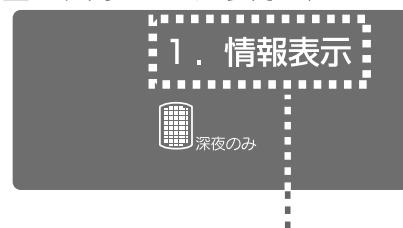
この部分の表示が切り替わります。

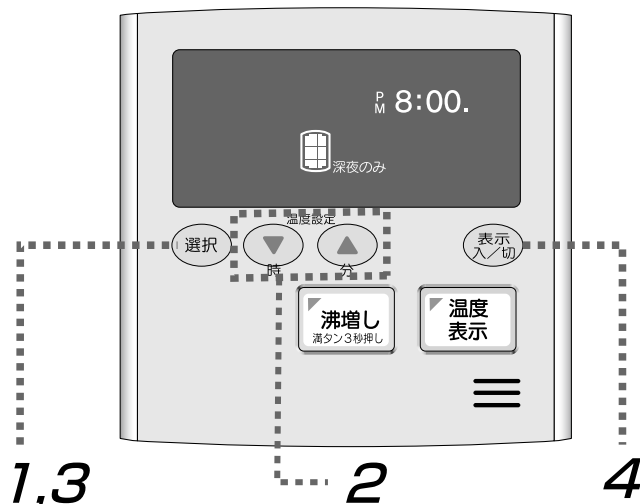
使用可能湯量

●現在電気温水器に貯められているお湯と水を混ぜ合わせて43℃で使用した場合に利用できる湯量の目安です。

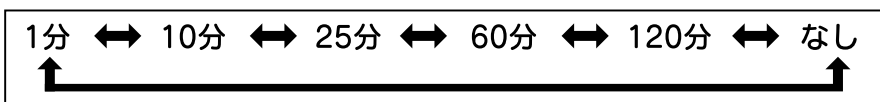
貯湯温度

●現在の電気温水器上部のお湯の温度（目安）を表示します。電気温水器内のお湯の温度は、時間の経過とともに放熱して低下します。

●全ての情報を表示すると通常表示に戻ります。

リモコンの表示を消す（自動消灯／手動消灯）

○台所リモコンの表示は、一定の時間スイッチ操作しないとき、自動的に消灯します。
また、（表示入/切）を押して手動でリモコンの表示を点灯／消灯させることもできます。
○台所リモコンから自動消灯までの時間を設定することができます。
○お買い上げ時の自動消灯時間の設定は、25分です。

■台所リモコン

自動消灯時間の設定

1. **「5.自動消灯設定」が表示されるまで（選択）を数回押します。**

■台所リモコン表示部

2. **（▼時）または（▲分）を押して、自動消灯時間を設定します。**

● 「なし」に設定すると常時点灯します。

3. **（選択）を押します。**

● 「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

※ （選択）を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

手動でのリモコン表示消灯／点灯

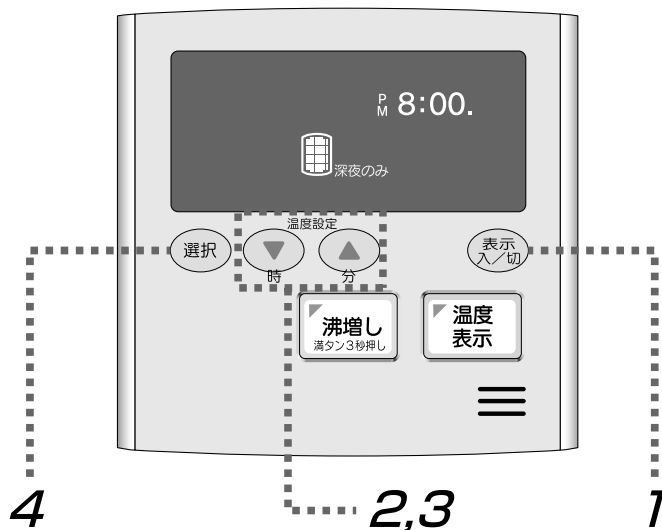
4. **台所リモコンの（表示入/切）を押します。**

● （表示入/切）を押すと表示が消灯または点灯します。

お知らせ

●リモコン消灯中にスイッチ操作すると、リモコン表示が点灯します。

TEL登録設定

○故障時の連絡先（販売店）の電話番号を登録します。

■台所リモコン

1. 表示入/切 **を5秒以上押します。**

●「TEL登録」を表示します。

2. ▼(時) **で数字を選び、** ▲(分) **で桁を移動します。**

●▼(時)を押すと、点滅しているところが「−」→「0」→「1」→「2」→‥‥‥→「9」→「　」→「−」→‥‥‥の順で切り替わります。

●▲(分)を押すと、点滅が1桁右に移動します。

3. **2.の動作を繰り返し、電話番号を入力します。**

4. 選択 **を押し、確定します。**

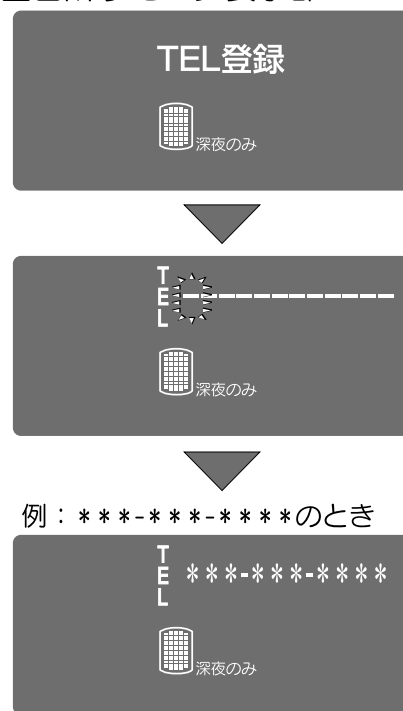
●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、通常表示へ戻ります。

■台所リモコン表示部

TEL登録
深夜のみ

TEL ------------
深夜のみ

例：＊＊＊-＊＊＊-＊＊＊＊のとき

TEL ＊＊＊-＊＊＊-＊＊＊＊
深夜のみ

お知らせ

●機器に異常が発生したとき、リモコンにエラー表示と登録した電話番号が交互に表示されます。

●設定された電話番号を確認するときは、表示入/切 を5秒以上押してください。
確認が終わったら 選択 を押して通常表示にもどしてください。

オプション設定

○リモコンの音量、明るさ、操作音量の設定ができます。

設定項目一覧

設定項目（表示）	設定内容	お買い上げ時の設定	設定範囲
台所音量	台所リモコン音声の音量を設定します。	中	なし・小・中・大
台所輝度	台所リモコン表示部の明るさを設定します。	明	明・暗
操作音	リモコンスイッチ操作音のあり／なしを設定します。	あり	あり・なし

設定方法

■台所リモコン

1. 選択 **を3秒以上押します。**

●表示部に「オプション設定」→「「選択」で選び」→「「▼」「▲」で変更」と表示します。

2. 選択 **を押して変更したい項目を選び、表示させます。**

●現在の設定が点滅します。

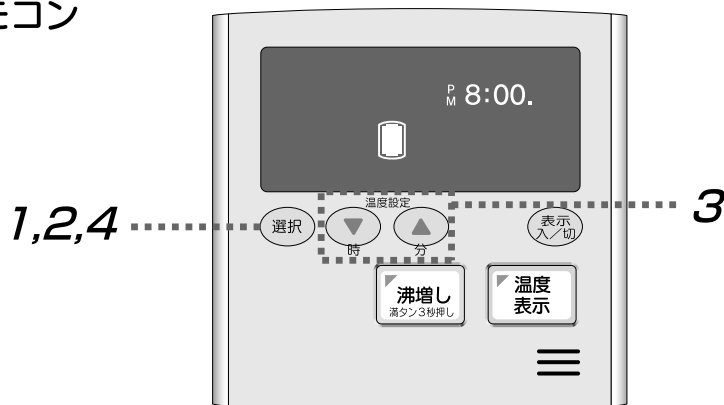
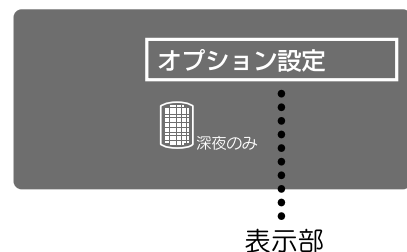
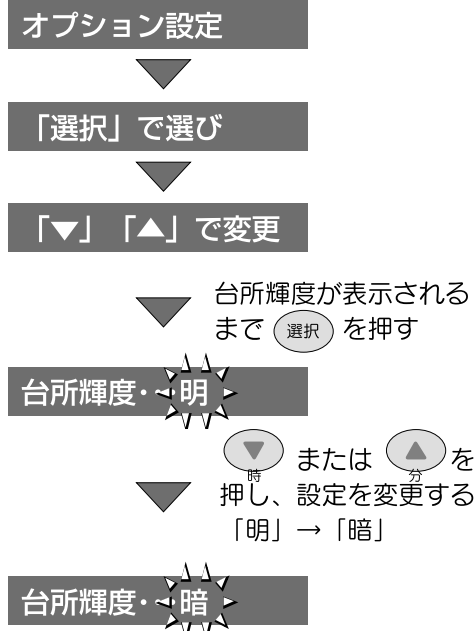
3. ▼(時) **または** ▲(分) **を押して、設定を変更します。**

4. 選択 **を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、次の項目へ進みます。

※スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

表示部

例：台所リモコンの輝度を明→暗へ変更する場合の表示部

電力契約の確認・設定

○電力契約には、時間帯別電灯契約と深夜電力（8時間）契約があります。
○時間帯別電灯契約の中でも電力会社によっていろいろなプランがあります。
各プランに合わせた設定を行ってください。
（通常、お客さまの電力契約に合わせて工事店が設定します。）

■台所リモコン

1. （温度設定 ▼時 ▲分）**を同時に5秒以上押します。**

●現在の設定が点滅しますので、下表を参考に設定を確認してください。

2. （選択）**を押し、確定します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、設定を確定します。

※お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定しなおしてください。設定の際は、下表を参考に間違いのないように設定してください。

設定方法

1．の現在の設定が点滅しているときに（▼時）または（▲分）で設定をあわせた後、（選択）を押し、確定します。

●各電力契約メニューに対する設定一覧

電力会社	電力契約メニュー		設定
北海道電力	ドリーム8 ドリーム8エコ	Aパターン	2
		Bパターン	1
		Cパターン	3
	ｅタイム3		3
東北電力	やりくりナイト8		1
	やりくりナイト10		3
	やりくりナイトS		3
東京電力	おトクなナイト8		1
	おトクなナイト10		3
	電化上手		1
中部電力	タイムプラン		1
	Ｅライフプラン		1
北陸電力	エルフナイト8		1
	エルフナイト10		3
	エルフナイト10プラス		3

電力会社	電力契約メニュー	設定
関西電力	時間帯別電灯	1
	はぴｅタイム	1
中国電力	エコノミーナイト	3
	ファミリータイム（プランⅠ）	3
	ファミリータイム（プランⅡ）	3
四国電力	得トクナイト	1
	電化Ｄｅナイト	1
九州電力	時間帯別電灯（8時間型）	1
	よかナイト10	3
	電化ｄｅナイト	3
沖縄電力	時間帯別電灯	1
	Ｅｅらいふ	1
全電力会社	深夜電力契約	0

ご参考

時間帯別電灯

ご家庭で使う全ての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で下図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算出します。
（料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。）

深夜電力

翌日使用するお湯を夜11時から翌朝7時までの深夜電力時間帯で沸上げます。
昼間時間帯は通電されません。
（電力会社によって深夜電力通電時間帯は異なる場合があります。）

数日間お湯を使用しないとき（沸上休止設定）

○旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを停止させることができます。

■台所リモコン

参考

休止日数は下記の設定例を参考にしてください。
【設定例】
12月1日に出発し、12月5日に帰宅する
4泊5日の旅行の場合。
●出発日（12月1日）に休止設定する。
「4日後に帰宅」を設定する。
※12月5日の朝からお湯を使えます。

⚠注意

●電源を「OFF」にしない。
凍結しそうな外気温になると電気温水器内の凍結防止ヒータで凍結を予防します。

■台所リモコン表示部

1. **「4．休止設定」が表示されるまで （選択） を数回押します。**

●「0日後に帰宅」を表示し、日数の部分が点滅します。

2. **（▼時） または （▲分） を押して、日数を設定します。**

●「1日後に帰宅」に設定した場合、設定したときから午後11時（深夜時間帯開始時刻）まで沸上げが停止します。

3. **（選択） を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「休止中」を表示します。
※ （選択） を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

休止設定を解除するとき

■台所リモコン表示部

4. **「4．休止設定」が表示されるまで （選択） を数回押します。**

●「休止解除」が点滅します。

5. **（選択） を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、休止を解除します。
※ （選択） を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると自動的に設定が完了します。

長期間お湯を使用しないとき

○1カ月以上ご使用されないときは、電気温水器の水を抜きます。
○排水をするときは、やけどなどの防止のため、電気温水器のお湯を使いきって（水の状態にして）からおこなってください。
○凍結する恐れのある地域でご使用の場合は、販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

⚠警告

●排水時はお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。

⚠注意

●1カ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。
排水しないと水質が変化することがあります。冬期は凍結して機器が破損することがあります。

1. あらかじめ排水することがわかっている場合は、排水する前日に休止設定を「2日後に帰宅」に設定します。
（→22ページ）
●排水当日の朝は、お湯が沸いていません。排水当日にもお湯を多く使う場合は休止設定しないでください。

2. 蛇口（湯水混合栓）を開き、熱いお湯が出なくなったら閉じます。

3. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。

4. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。

5. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。

6. **電気温水器の負圧弁付圧力逃がし弁のレバーをあげます。**

7. **電気温水器の排水バルブ（1箇所）を開きます。**

●水が抜けるのに約30分かかります。

8. **排水が終わったら電気温水器の水抜き栓（2箇所）、缶体保護弁、非常用取水栓を開きます。**

●バケツ等の容器で受けて排水します。

9. **水抜き栓から水が出なくなったら、排水バルブを閉じ、すべての水抜き栓、缶体保護弁、非常用取水栓を元どおり閉じます。**

10. **負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげ、電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを元どおり閉じます。**

お願い

●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→11ページ）の手順の準備作業をおこなってください。
●水抜き作業後に負圧弁付圧力逃し弁のレバーがさがっていること、排水バルブ、水抜き栓、缶体保護弁、非常用取水栓が閉じていることを確認してください。
●配管カバーや脚カバーが付いている場合は、「配管カバー・脚カバーのはずし方」（→6ページ）を参照し、カバーをはずしてから排水をおこなってください。

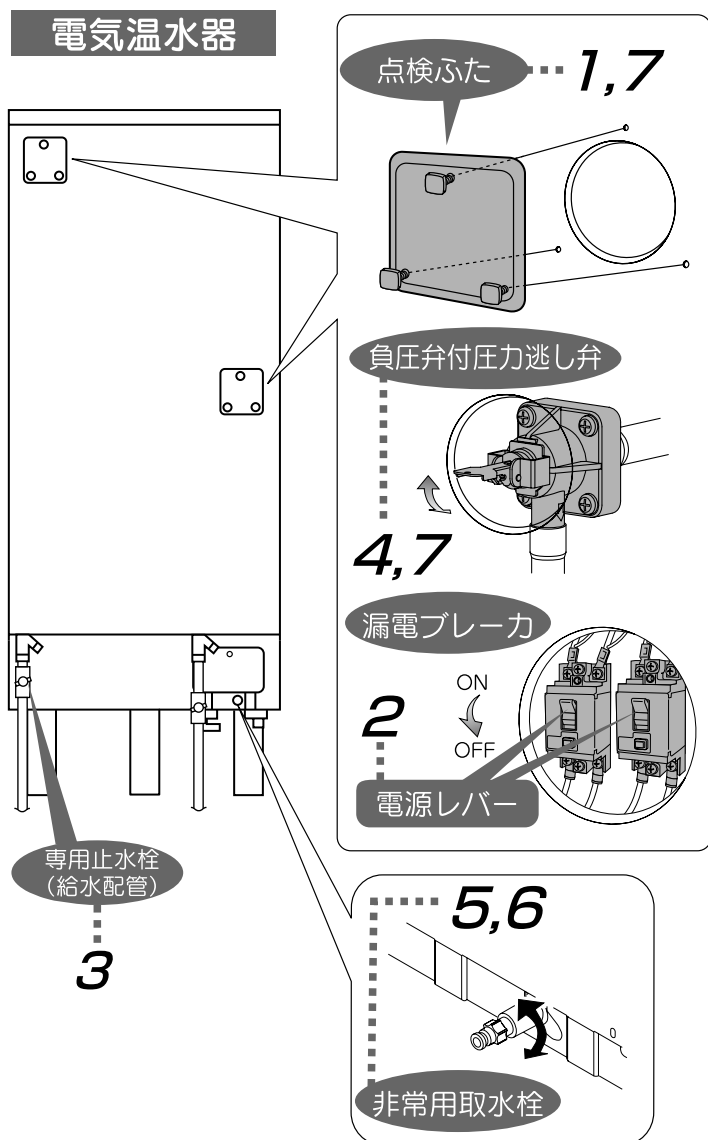
非常用取水栓の使い方

○万一の地震などの災害時は、電気温水器内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

⚠警告

●取水時はお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

⚠注意

●飲用に用いない。
長期間のご使用により、電気温水器内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

準備するもの
容器（ポリタンク、バケツなど）

1. **電気温水器の点検ふた（2箇所）を取りはずします。**
2. **電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。**
3. **専用止水栓（給水配管）を閉じます。**
4. **電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。**
   ●負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげると排水口からあついお湯が出ることがあります。レバーをあげるときは十分注意してください。
5. **非常用取水栓を開き、容器に受けます。**
   ●取水時は、やけどに注意してください。
6. **取水が終わったら、非常用取水栓を閉じます。**
7. **負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげ、点検ふた（2箇所）を元どおり取りつけます。**

お願い

●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→11ページ）の手順の準備作業をおこなってください。
●配管カバーや脚カバーが付いている場合は、「配管カバー・脚カバーのはずし方」（→6ページ）を参照し、カバーをはずしてから取水してください。

3 使い方（標準圧力型）

3（26～39ページ）では、標準圧力型機種の使い方を説明しています。高圧力型機種をご使用のお客様は2（11～25ページ）をお読みください。

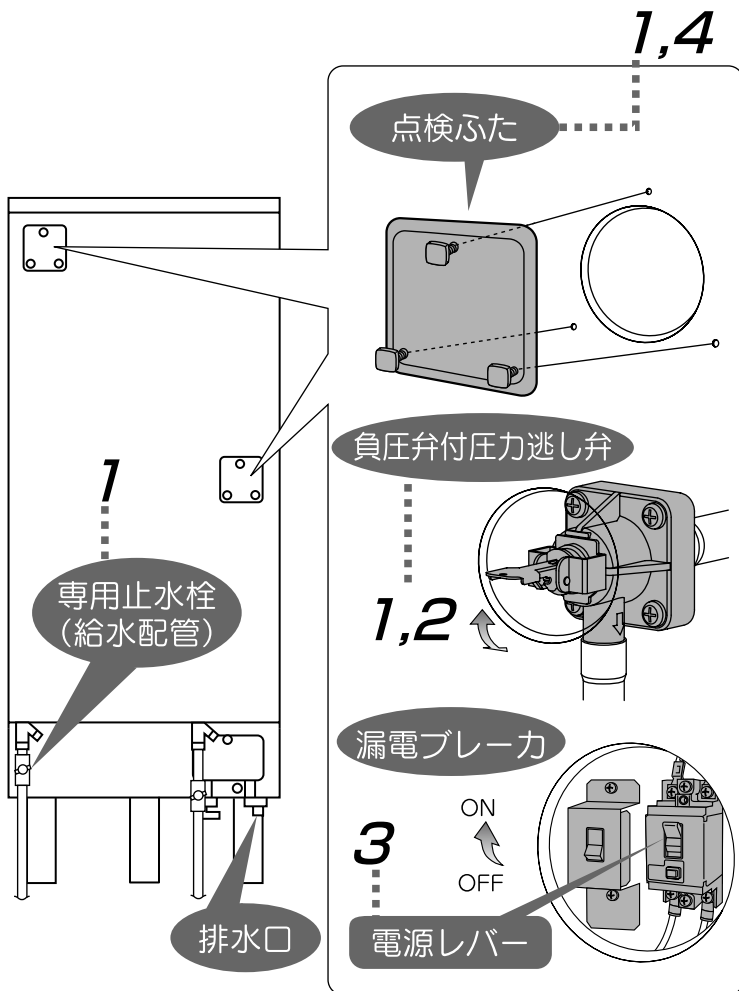
はじめてご使用になるとき

○電気温水器を満水にし、電源を入れます。

⚠警告

●ぬれた手で漏電ブレーカを操作しない。レバー以外には手を触れない。
感電の恐れがあります。

⚠注意

●電気温水器を満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。
●電気温水器の点検ふたは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）をはずし、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげ、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●電気温水器に水を入れます。

2. 電気温水器が満水になったら、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを戻します。

●排水口から水が出てきたら満水です。
●満水までの目安は約30分です。
●給湯配管内の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開きます（1箇所）。空気が抜けたら、蛇口を閉じてください。（参考図参照）

3. 電源ブレーカを「入」にし、漏電ブレーカの電源レバーを「入」にします。

4. 電気温水器の点検ふた（2箇所）を元どおり取りつけます。

別売品台所リモコン取付時のみ

5. 台所リモコンで時刻合わせをします。

●「時刻を合わせてください」と音声と表示でお知らせします。
●▼（時）と▲（分）で現在時刻を合わせます。
●（選択）を押します。「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
●時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を夜の12時は「AM12：00」を表示します。

〈参考図〉

給湯配管の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1箇所）
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

2バルブタイプ	シングルレバータイプ	サーモスタットタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く	お湯側にレバーを回してあげる（さげる）	湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く

（空気が抜けたら蛇口を閉じてください。）

時刻合わせ

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ設定してください。
○現在時刻の設定をします。
○「時間帯別電灯」でご契約のお客様は設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。停電などで時刻が「－－：－－」表示のままでは、沸上げができません。

■台所リモコン

●はじめてお使いになるとき
●停電や電源「切」の状態が長時間続いたとき
→ 手順2．から設定をしてください。（電源を入れると自動的に設定画面を表示します）

1. **「2．現在時刻設定」が表示されるまで （選択） を数回押します。**

■台所リモコン表示部

2. **（▼ 時） と （▲ 分） で現在時刻を合わせます。**

●ボタンを押し続けると連続して替わります。

お知らせ

●時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を、夜の12時は「AM12：00」を表示します。

3. **（選択） を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※（選択）を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約1分以上経過すると、自動的に設定が完了します。

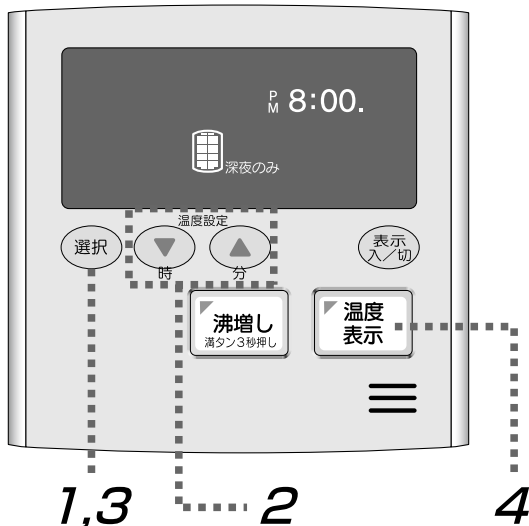
■台所リモコン表示部

お願い

●約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、時刻表示は「－－：－－」を表示しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
●時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認をおこない時刻の修正をしてください。

沸上げ温度の設定（台所リモコンを接続したとき）と貯湯温度表示

○別売品の台所リモコンを接続しないときの沸上げ温度の設定方法は、29ページをお読みください。
○ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度の設定ができます。
○お買い上げ時の設定は、「高」です。
○電気温水器内に残っているお湯の温度を確認できます。

■台所リモコン

沸上げ温度の設定

1. **「5．沸上温度設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

2. **▼(時) または ▲(分) を押して、沸上げ温度を切り替えます。**

沸上温度設定	沸上げ温度（目安）
自動	約65℃～約85℃ 給水温度に応じて沸上げる温度を自動調整します。
低	約65℃に固定します。
高	約85℃に固定します。

3. **選択 を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

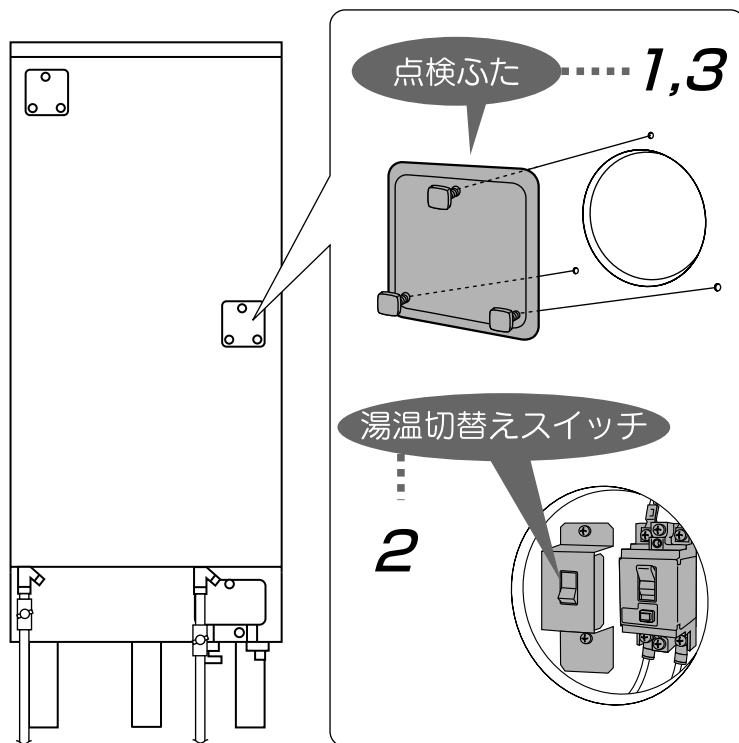
貯湯温度表示

4. **温度表示 を押します。**

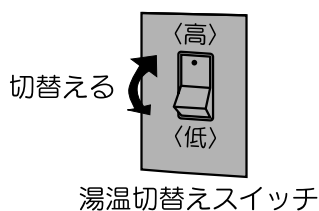
●現在の電気温水器上部のお湯の温度（目安）を表示します。
●そのまま10秒経過すると通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

沸上げ温度の設定（台所リモコンを接続しないとき）

○別売品の台所リモコンを接続したときの沸上げ温度の設定方法は、28ページをお読みください。
○ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度の設定ができます。
○お買い上げ時の設定は、「高」です。

1. **電気温水器の点検ふたをはずします。**

2. **湯温切替えスイッチを押して、沸上げ温度を設定します。**

湯温切替えスイッチ

沸上温度設定	沸上げ温度（目安）
低	約65℃に固定します。
高	約85℃に固定します。

3. **電気温水器の点検ふたを元どおり取りつけます。**

お知らせ

●リモコンを接続するとリモコンの設定が優先されます。

お湯がたくさん必要なとき（満タン）

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ利用できます。
○大量のお湯を連続して使用するときに、電気温水器のお湯を満タンに保ちます。
○満タンモードは昼間時間帯のみの機能ですので「時間帯別電灯」でご契約のお客様のみご利用できます。「深夜電力」でご契約のお客様はご利用できません。

■台所リモコン

1. 沸増し（満タン3秒押し） **を3秒以上押します。**

- 「満タンに沸上げます」と音声でお知らせし、「満タン」と「沸上げ中」を表示します。
  すでにお湯が満タンの場合は、「沸上げ中」は表示しません。
- 満タンモード設定中は、「深夜のみ」の表示は消灯します。
- 設定した日の午後11時頃になると、自動的に満タンモードを解除し、「深夜のみ」モードに戻ります。

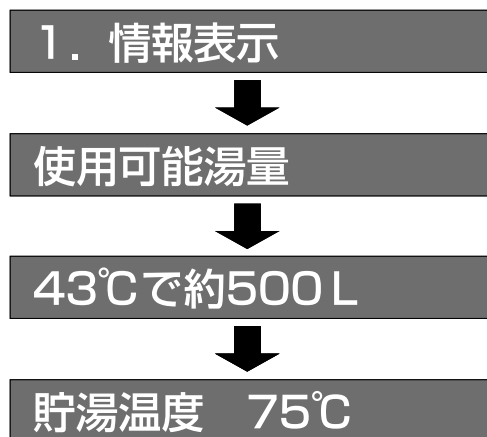
2. **途中でやめるときは、もう一度** 沸増し（満タン3秒押し） **を押します。**

■台所リモコン表示部

お知らせ

- 満タンモードを使用すると、電気料金は割高になります。
- リモコンに「休止中」を表示している場合は、満タンモードに設定できません。
- 時刻未設定時は、満タンモードに設定できません。

情報を見る

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ確認できます。
○使用可能湯量、貯湯温度を表示します。（表示される内容は、目安です。）

標準圧力型

■台所リモコン

1. **「1.情報表示」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

●3秒ごとに自動で表示が切り替わります。

■台所リモコン表示部

この部分の表示が切り替わります。

使用可能湯量

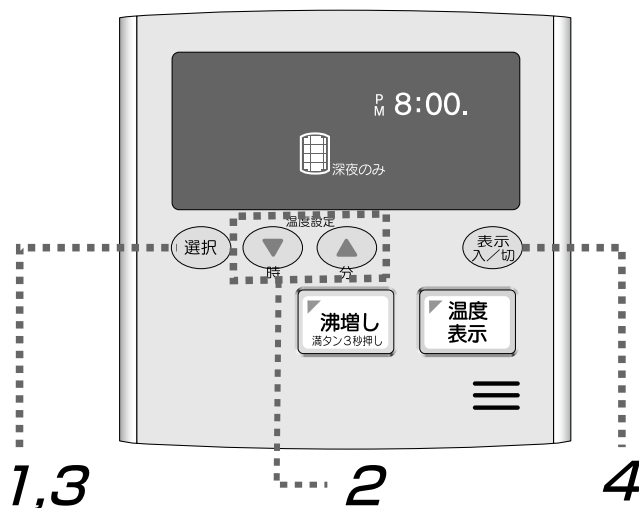
●現在電気温水器に貯められているお湯と水を混ぜ合わせて43℃で使用した場合に利用できる湯量の目安です。

貯湯温度

●現在の電気温水器上部のお湯の温度（目安）を表示します。電気温水器内のお湯の温度は、時間の経過とともに放熱して低下します。

●全ての情報を表示すると通常表示に戻ります。

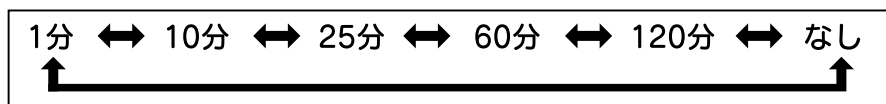
リモコンの表示を消す（自動消灯／手動消灯）

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ操作できます。
○台所リモコンの表示は、一定の時間スイッチ操作しないとき、自動的に消灯します。
また、表示入／切 を押して手動でリモコンの表示を点灯／消灯させることもできます。
○台所リモコンから自動消灯までの時間を設定することができます。
○お買い上げ時の自動消灯時間の設定は、25分です。

■台所リモコン

自動消灯時間の設定

■台所リモコン表示部

1. **「4.自動消灯設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。**

2. **▼（時） または ▲（分） を押して、自動消灯時間を設定します。**

●「なし」に設定すると常時点灯します。

3. **選択 を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせします。

※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

手動でのリモコン表示消灯／点灯

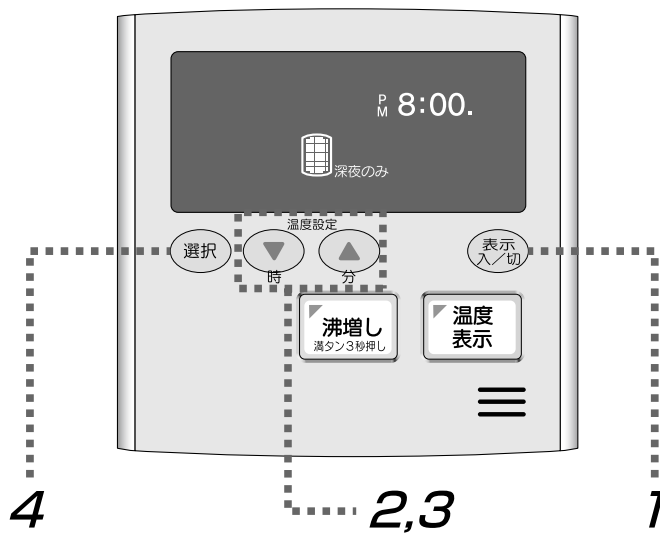
4. **台所リモコンの 表示入／切 を押します。**

● 表示入／切 を押すと表示が消灯または点灯します。

お知らせ

●リモコン消灯中にスイッチ操作すると、リモコン表示が点灯します。

TEL登録設定

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ登録できます。
○故障時の連絡先（販売店）の電話番号を登録します。

■台所リモコン

1. **（表示 入／切）を5秒以上押します。**

●「TEL登録」を表示します。

2. **（▼ 時）で数字を選び、（▲ 分）で桁を移動します。**

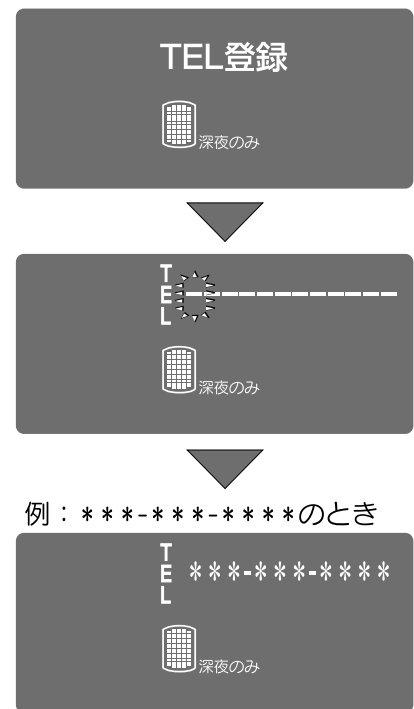
●（▼ 時）を押すと、点滅しているところが「－」→「0」→「1」→「2」→……→「9」→「　」→「－」→……の順で切り替わります。

●（▲ 分）を押すと、点滅が1桁右に移動します。

3. **2.の動作を繰り返し、電話番号を入力します。**

4. **（選択）を押し、確定します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、通常表示へ戻ります。

■台所リモコン表示部

お知らせ

●機器に異常が発生したとき、リモコンにエラー表示と登録した電話番号が交互に表示されます。

●設定された電話番号を確認するときは、（表示 入／切）を5秒以上押してください。
確認が終わったら（選択）を押して通常表示にもどしてください。

オプション設定

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ設定できます。
○リモコンの音量、明るさ、操作音量の設定ができます。

標準圧力型

設定項目一覧

設定項目（表示）	設定内容	お買い上げ時の設定	設定範囲
台所音量	台所リモコン音声の音量を設定します。	中	なし・小・中・大
台所輝度	台所リモコン表示部の明るさを設定します。	明	明・暗
操作音	リモコンスイッチ操作音のあり／なしを設定します。	あり	あり・なし

設定方法

■台所リモコン

1. **選択 を3秒以上押します。**

●表示部に「オプション設定」→「「選択」で選び」→「「▼」「▲」で変更」と表示します。

2. **選択 を押して変更したい項目を選び、表示させます。**

●現在の設定が点滅します。

3. **▼(時) または ▲(分) を押して、設定を変更します。**

4. **選択 を押します。**

●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、次の項目へ進みます。

※スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、通常表示に戻ります。

■台所リモコン表示部

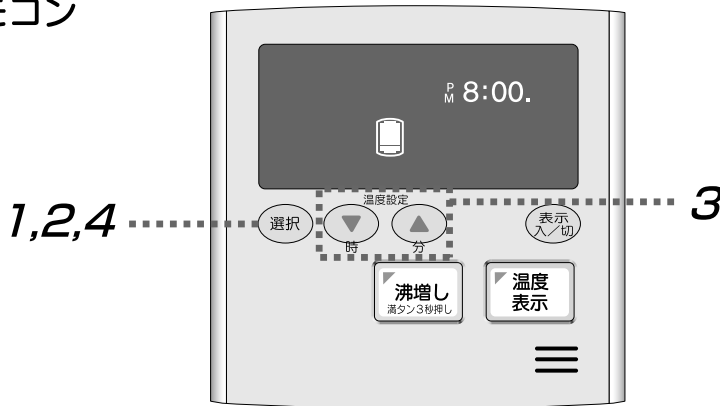
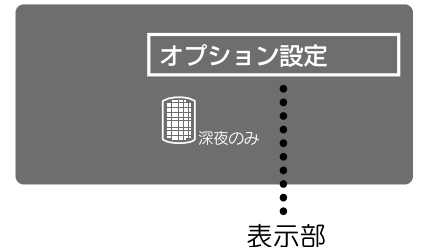
表示部

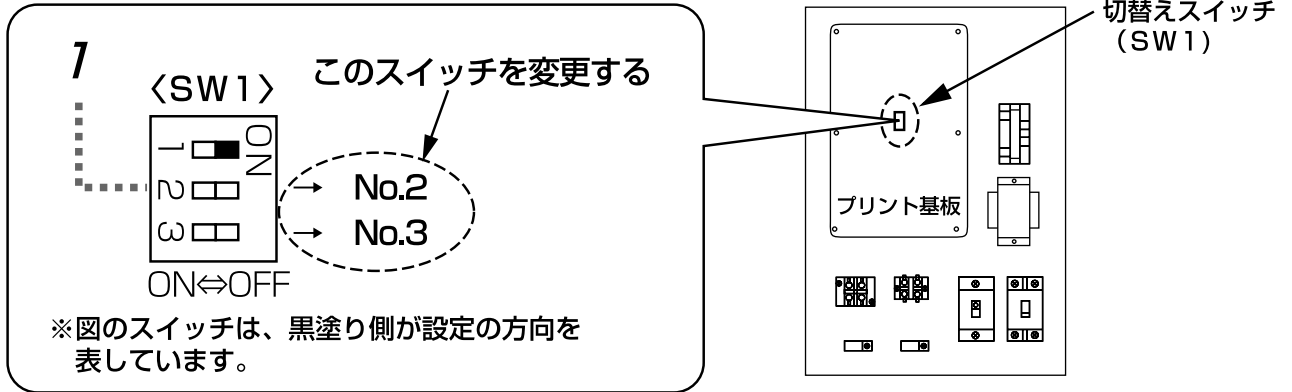
例：台所リモコンの輝度を明→暗へ変更する場合の表示部

台所輝度が表示されるまで 選択 を押す

台所輝度・明

▼ または ▲ を押し、設定を変更する「明」→「暗」

使い方（標準圧力型）

電力契約の設定 （工事店設定項目）

○電力契約には、時間帯別電灯契約と深夜電力（8時間）契約があります。
○時間帯別電灯契約の中でも電力会社によっていろいろなプランがあります。
各プランに合わせた設定をします。
（設定は、お客さまの電力契約に合わせて工事店が設定します。安全のためご自分でおこなわないでください。）

ご参考

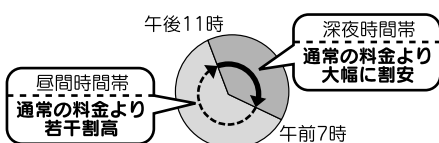
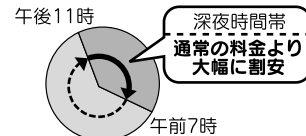
1. プリント基板中央の切替えスイッチ（SW1）のNo.2とNo.3のON／OFFにより設定する。

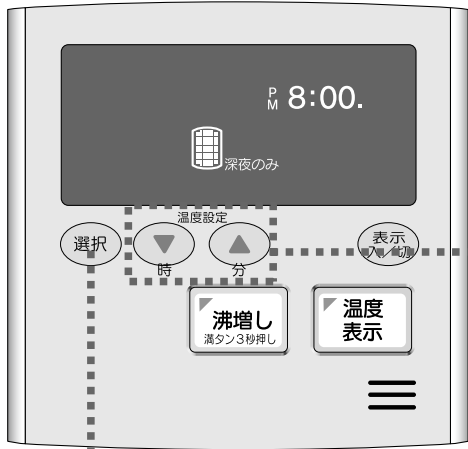
●各電力契約メニューに対する設定一覧

電力会社	電力契約メニュー		設定 No.2	設定 No.3
北海道電力	ドリーム8 ドリーム8エコ	Aパターン	OFF	ON
		Bパターン	OFF	OFF
		Cパターン	ON	OFF
	eタイム3		ON	OFF
東北電力	やりくりナイト8		OFF	OFF
	やりくりナイト10		ON	OFF
	やりくりナイトS		ON	OFF
東京電力	おトクなナイト8		OFF	OFF
	おトクなナイト10		ON	OFF
	電化上手		OFF	OFF
中部電力	タイムプラン		OFF	OFF
	Eライフプラン		OFF	OFF
北陸電力	エルフナイト8		OFF	OFF
	エルフナイト10		ON	OFF
	エルフナイト10プラス		ON	OFF

電力会社	電力契約メニュー	設定 No.2	設定 No.3
関西電力	時間帯別電灯	OFF	OFF
	はぴeタイム	OFF	OFF
中国電力	エコノミーナイト	ON	OFF
	ファミリータイム（プランⅠ）	ON	OFF
	ファミリータイム（プランⅡ）	ON	OFF
四国電力	得トクナイト	OFF	OFF
	電化Deナイト	OFF	OFF
九州電力	時間帯別電灯（8時間型）	OFF	OFF
	よかナイト10	ON	OFF
	電化deナイト	ON	OFF
沖縄電力	時間帯別電灯	OFF	OFF
	Eeらいふ	OFF	OFF
全電力会社	深夜電力契約	ON	ON

ご参考

時間帯別電灯
ご家庭で使う全ての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で下図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算出します。
（料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。）

深夜電力
翌日使用するお湯を夜11時から翌朝7時までの深夜電力時間帯で沸上げます。
昼間時間帯は通電されません。
（電力会社によって深夜電力通電時間帯は異なる場合があります。）

数日間お湯を使用しないとき（沸上休止設定）

○別売品の台所リモコンを接続したときのみ設定できます。
○旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを停止させることができます。

■台所リモコン

参考

休止日数は下記の設定例を参考にしてください。
【設定例】
12月1日に出発し、12月5日に帰宅する
4泊5日の旅行の場合。
●出発日（12月1日）に休止設定する。
「4日後に帰宅」を設定する。
※12月5日の朝からお湯を使えます。

11月30日		12月1日		12月2日		12月3日		12月4日		12月5日	
昼間	深夜	昼間	深夜	昼間	深夜	昼間	深夜	昼間	深夜	昼間	深夜
	深夜沸上	1日		2日		3日		4日	深夜沸上		

4日間沸上げが停止する
「4日後に帰宅」で休止設定
朝からお湯が使えます

⚠注意

●電源を「OFF」にしない。
凍結しそうな外気温になると電気温水器内の凍結防止ヒータで凍結を予防します。

■台所リモコン表示部

1. **「3．休止設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。**
●「0日後に帰宅」を表示し、日数の部分が点滅します。

2. **▼(時) または ▲(分) を押して、日数を設定します。**

0 ➡ 1 ➡ 2 ➡ ・・・・・15 （15の次は0に戻る）

●「1日後に帰宅」に設定した場合、設定したときから午後11時（深夜時間帯開始時刻）まで沸上げが停止します。

3. **選択 を押します。**
●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、「休止中」を表示します。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

休止設定を解除するとき

■台所リモコン表示部

4. **「3．休止設定」が表示されるまで 選択 を数回押します。**
●「休止解除」が点滅します。

5. **選択 を押します。**
●「設定されました」と音声と表示でお知らせし、休止を解除します。
※ 選択 を押さない場合でも、スイッチ操作のない状態で約10秒以上経過すると、自動的に設定が完了します。

長期間お湯を使用しないとき

○1カ月以上ご使用されないときは、電気温水器の水を抜きます。
○排水をするときは、やけどなどの防止のため、電気温水器のお湯を使いきって（水の状態にして）からおこなってください。
○凍結する恐れのある地域でご使用の場合は、販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

⚠警告

●排水時はお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。
●漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。

⚠注意

●1カ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。
排水しないと水質が変化することがあります。冬期は凍結して機器が破損することがあります。

1. あらかじめ排水することがわかっている場合は、排水する前日に休止設定を「2日後に帰宅」に設定します。
（→36ページ）
●排水当日の朝は、お湯が沸いていません。排水当日にもお湯を多く使う場合は休止設定しないでください。
●リモコンを接続していない場合はできません。

2. 蛇口（湯水混合栓）を開き、熱いお湯が出なくなったら閉じます。

3. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。

4. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。

5. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。

6. 電気温水器の負圧弁付圧力逃がし弁のレバーをあげます。

7. 電気温水器の排水バルブ（1箇所）を開きます。

●水が抜けるのに約30分かかります。

8. 排水が終わったら電気温水器の水抜き栓（2箇所）、缶体保護弁、非常用取水栓を開きます。

●バケツ等の容器で受けて排水します。

9. 水抜き栓から水が出なくなったら、排水バルブを閉じ、すべての水抜き栓、缶体保護弁、非常用取水栓を元どおり閉じます。

10. 負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげ、電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを元どおり閉じます。

お願い

●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→26ページ）の手順の準備作業をおこなってください。
●水抜き作業後に負圧弁付圧力逃し弁のレバーがさがっていること、排水バルブ、水抜き栓、缶体保護弁、非常用取水栓が閉じていることを確認してください。
●配管カバーや脚カバーが付いている場合は、「配管カバー・脚カバーのはずし方」（→6ページ）を参照し、カバーをはずしてから排水をおこなってください。

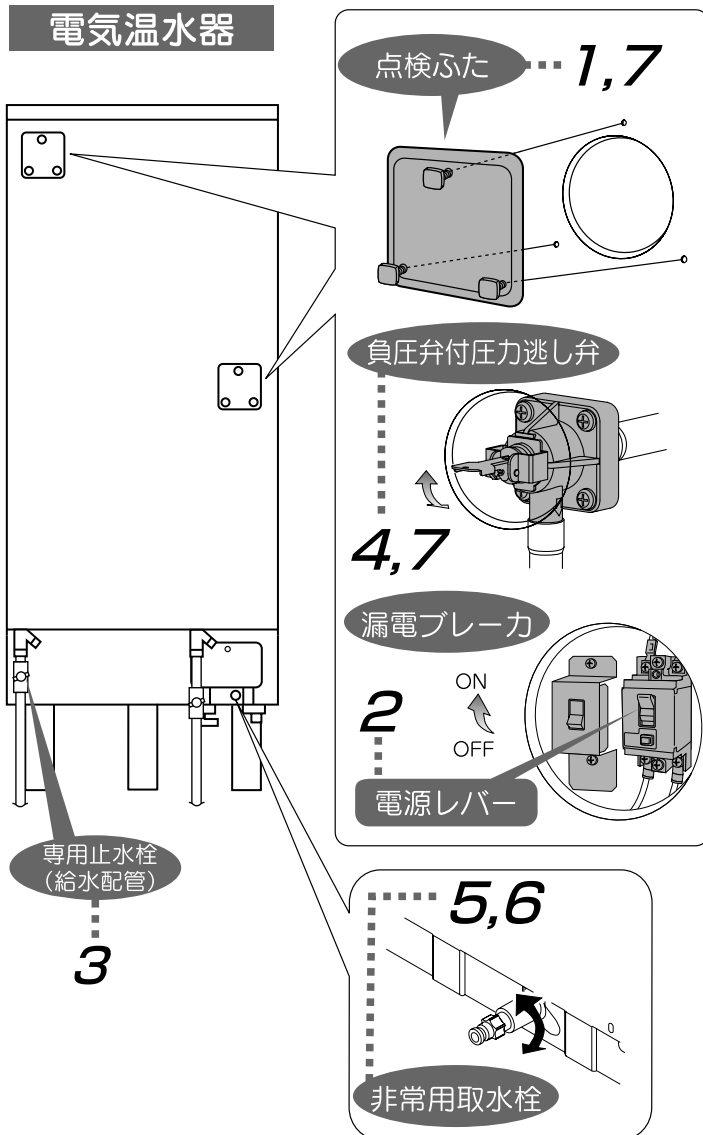
非常用取水栓の使い方

○万一の地震などの災害時は、電気温水器内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

⚠警告

●取水時はお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

⚠注意

●そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、電気温水器内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

準備するもの
容器（ポリタンク、バケツなど）

1. **電気温水器の点検ふた（2箇所）を取りはずします。**
2. **電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。**
3. **専用止水栓（給水配管）を閉じます。**
4. **電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。**
   ●負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげると排水口からあついお湯が出ることがあります。レバーをあげるときは十分注意してください。
5. **非常用取水栓を開き、容器に受けます。**
   ●取水時は、やけどに注意してください。
6. **取水が終わったら、非常用取水栓を閉じます。**
7. **負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげ、点検ふた（2箇所）を元どおり取りつけます。**

お願い

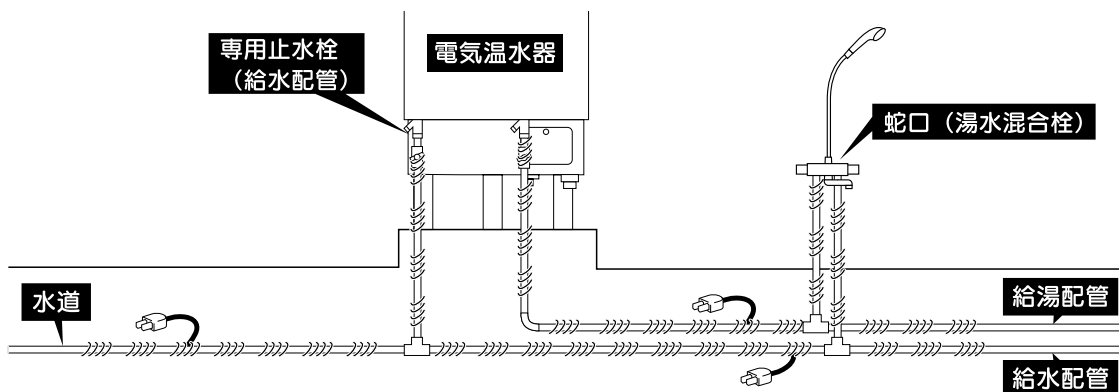
●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→26ページ）の手順の準備作業をおこなってください。
●配管カバーや脚カバーが付いている場合は、「配管カバー・脚カバーのはずし方」（→6ページ）を参照し、カバーをはずしてから取水してください。

4 このようなときは

凍結予防および停電や断水時について

○冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
○販売店または据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

凍結防止ヒータ（配管の凍結予防）

○凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差込みます。
○凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

●配管の凍結防止対策を確認する。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

●電源を「OFF」にしない。
冬期は凍結して機器が破損することがありますので電源を「OFF」にしないでください。

●配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水配管）を閉じて、販売店または据付工事店へご連絡ください。

停電したとき

○約4時間以内の停電であればお客さまの設定した「時刻」「沸上げモード」などの設定は記憶しています。ただし、これ以上の長時間停電が続いた場合、下記設定がお買い上げ時の設定に戻りますので、設定をしなおしてください。

停電が4時間以上続いた場合

時刻がリセットされます。（「ーー：ーー」表示）
●停電終了後、時刻を設定してください。（高圧力型→12ページ／標準圧力型→27ページ）

断水・水道工事がおこなわれるとき

○断水したときや、近くで水道工事がおこなわれるときは、専用止水栓（給水配管）を閉じてください。工事が終了したら、水道用の水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いてください。

●濁った水が電気温水器内のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
●断水しているときは、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

定期点検（有料）

○電気温水器を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行ってください。

定期点検の主な内容

○定期点検については、据付工事店（販売店）または株式会社コロナへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（負圧弁付圧力逃し弁、減圧弁）などの点検、および消耗部品の交換。
清　掃	電気温水器内の清掃。（沈殿物の除去など）

●給水器具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて、4～6年に1回程度の点検（有料）をおすすめします。

お手入れと日常点検

リモコンのお手入れ（日常）

■台所リモコン

●リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

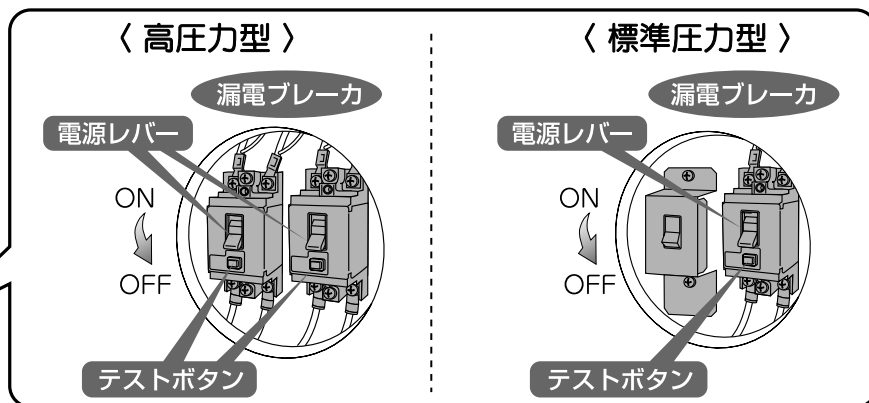
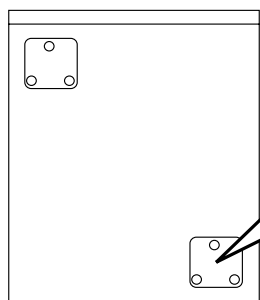
お願い

●リモコン内部には電気部品が入っていますので、故意に水をかけないようにしてください。

●洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

時刻の確認

●時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいます。ときどき確認をおこなってください。
ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせなおしてください。
（高圧力型→12ページ／標準圧力型→27ページ）

漏電ブレーカの動作点検（年に2〜3回）

●200V電源供給中に、電気温水器の漏電ブレーカのテストボタンを押してください。

お知らせ

●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
●点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻してください。

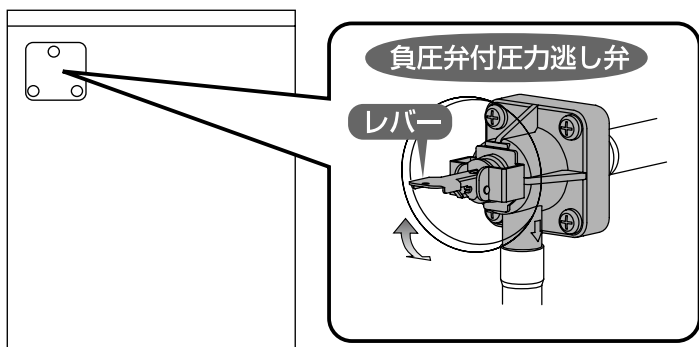
⚠警告

●漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
●ぬれた手で電源レバーを操作しない。レバー以外には手を触れない。
感電のおそれがあります。

お手入れと日常点検

負圧弁付圧力逃し弁の点検（年に2～3回）

⚠警告

●負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器

●電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。

●電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーを2～3回上下に動かしてください。

お知らせ

●あげたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。

●点検後は、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげ、漏電ブレーカを「ON」にしてください。

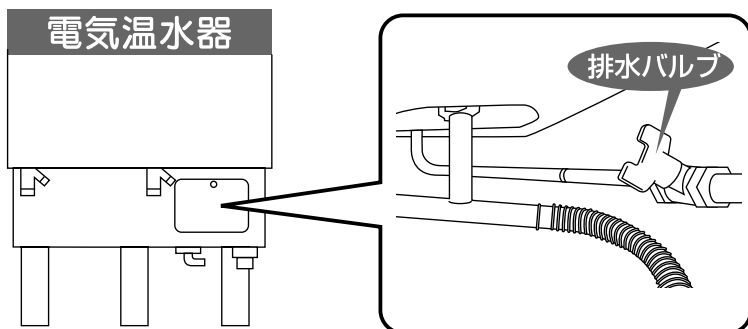
⚠注意

●負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。
点検しないと缶体や配管が破裂してやけどの原因になったり、弁部にゴミが付着し閉止不良により負圧弁付圧力逃し弁から湯が排出されることがあります。

●電気温水器の点検ふたは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

電気温水器のお手入れ1（年に2～3回）

⚠警告

●排水時にはお湯に手を触れない。
●電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器

●電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。

●電気温水器の、排水バルブ（1箇所）を開き、電気温水器内の水を排水します。

●1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水バルブ（1箇所）を閉じ、漏電ブレーカを「ON」してください。

電気温水器のお手入れ2（年に1回）

●「長期間お湯を使用しないとき」の手順で、機器内の水をすべて排水してください。
（高圧力型→23ページ／標準圧力型→37ページ）
●排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水·排水を繰り返してください。
●清掃完了後「はじめてご使用になるとき」の手順の準備作業をおこなってください。
（高圧力型→11ページ／標準圧力型→26ページ）

故障かなと思ったとき（エラー表示がない場合）

○次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合はお買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

症　状	原　　因	処　　置
リモコンの表示が「--:--」表示のまま	・長時間停電していた	時刻合わせをおこなってください。 (高圧力型→12ページ、標準圧力型→27ページ)
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	・電源ブレーカが「OFF」になっている	電源ブレーカを「ON」にしてください。 (電源ブレーカの取付け場所は、販売店(工事店)に確認ください。)
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている	漏電ブレーカを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
リモコンの表示が消えている	・表示が自動消灯モードになっている	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。 常時点灯させるには、自動消灯設定時間を「なし」にしてください。 (高圧力型→18ページ、標準圧力型→32ページ)
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている	リモコンの輝度量を「明」にしてください。 (高圧力型→20ページ、標準圧力型→34ページ)
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコンの音量が「なし」や「小」になっている	リモコンの音量を「中」「大」などに設定してください。 (高圧力型→20ページ、標準圧力型→34ページ)
リモコンの操作音が出ない	・リモコンの操作音の設定が「なし」になっている	リモコンの操作音設定を「あり」にしてください。 (高圧力型→20ページ、標準圧力型→34ページ)
お湯を使っていないのに貯湯量表示が減る	・沸上げ完了から長時間経過した	電気温水器内のお湯は自然放熱により冷めます。お湯を使わない場合でも、お湯の温度が低下して熱量が減るために貯湯量表示が減ることがあります。
貯湯量表示の減り方が早い	・外泊などで1日以上お湯を使用していない	貯えられたお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。
排水口からお湯が出ている	・沸上げ運転中	沸上げ運転中は、電気温水器内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が排出されるため排水口から水が出ます。 リモコンに「沸上げ中」の表示がないときにお湯が出ている場合は負圧弁付圧力逃し弁の点検をおこなってください。(→43ページ)
深夜時間帯になってもすぐに沸上げをおこなわない	・ピークシフト機能	給水水温の高い場合や残湯量が多い場合は、深夜時間帯になってもすぐに沸上げをおこないません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸上げを完了させます。(ピークシフト機能) 深夜にお湯を使わずに朝貯湯量表示4本になっていれば正常です。
お湯が出ない お湯の出が悪い	・専用止水栓が閉じている	専用止水栓を開いてください。
	・断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合わせてください。
	・電気温水器のストレーナにゴミがつまっている	お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまで待ってください。
お湯がぬるい お湯が足りない	・時刻表示が「--:--」表示のまま	時刻を合わせてください。 (高圧力型→12ページ、標準圧力型→27ページ)
	・台所リモコンが「休止中」を表示している	休止設定を解除してください。 (高圧力型→22ページ、標準圧力型→36ページ)
	・沸上げ温度の設定が低い	沸上げ温度の設定が「低」や「自動」の場合は、「高」にしてください。 (高圧力型→14ページ、標準圧力型→28、29ページ))
	・沸上げ運転時以外でも、排水口からお湯(水)が出ている	負圧弁付圧力逃し弁の点検をしてください。(→43ページ) 止まらない場合は、お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	沸増しをおこなってお湯を確保してください。(→15ページ) (沸増しは、高圧力型の機種のみの機能です。)

故障かなと思ったとき

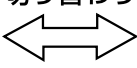
エラー表示

○機器に異常が発生したときリモコンに次のように表示し、ピピピピッと鳴って異常をお知らせします。（5秒ごとに表示が切り替わります。）

表　示	原　因	処　置
E02～E42	電気温水器関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。 再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
E37	別売品の 漏水センサ作動	電気温水器の専用止水栓（給水配管）を閉じ、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

エラー表示を解除するとき

■台所リモコン

1. 選択 と 表示入／切 を同時に5秒以上押します。

※再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。

事業者様へのご案内

下記内容は、高圧力型の機種のみ対象となります。

○『労働安全衛生法施行令』改正について

　1998年12月、『労働安全衛生法施行令』（以下安衛法）が改正され、電気温水器の缶体内圧が従来の『100kPa以下』から『200kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

　安衛法の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

簡易ボイラー：安衛法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積2m ^{2}（40kW）以下・水頭圧100kPa超え200kPa以下の給湯器です。
安衛法が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。
※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様がおこなうことになっています。

（1）設置報告

（事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。）

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要があるので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図※1及び小型ボイラー明細書※1並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面※2を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。
小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1　同梱されている明細書･構造図を使用して設置届けをおこなってください。
※2　事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

1.事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等　検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）並びに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

（2）定期自主検査

（事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。）

事業者様は、小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査をおこなってください。

本　体	・製品本体からの漏れの有無 ・負圧弁付圧力逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・漏電遮断器の動作状況 ・缶体の手入れ
配　管	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の（41～43ページ）「定期点検、お手入れと日常点検」を参照してください。なお、自主検査をおこなった後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

1.事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。
　（1）小型ボイラーにあっては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無。
　（2）小型圧力容器にあっては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は摩耗の有無。
2.事業者は、前項ただし書の小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号に掲げる事項について自主検査を行わなければならない。
3.事業者は、前2項の自主検査を行なったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

○『労働安全衛生法施行令』改正について

（3）特別教育

（事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。）

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育をおこなってください。

特別教育の科目
①ボイラーの構造に関する知識
②ボイラーの付属品に関する知識
③関係法令
④小型ボイラーの運転及び保守
⑤小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育をおこなったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお、特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。
取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明をおこなってください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

1.事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行なわなければならない。
2.前項の特別の教育は、次の科目について行なうものとする。
1 ボイラーの構造に関する知識
2 ボイラーの付属品に関する知識
3 燃料及び燃焼に関する知識
4 関係法令
5 小型ボイラーの運転及び保守
6 小型ボイラーの点検
3.安衛則第37条及び38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

（4）事故報告

（高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。）

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

■適用法令→労働安全衛生規則第96条

1.事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。
（1～2略）
3.小型ボイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき（以下略）

仕様

項目		KSH-46MK1	KSH-37MK1	KSH-30MK1	KS-37MK1
圧力型		高圧力型			標準圧力型
型式名		KSH-46MK1	KSH-37MK1	KSH-30MK1	KS-37MK1
ボイラー区分		小型温水ボイラー			簡易ボイラー
適応電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）			
設置場所		屋内外用			
缶体容量		460Ｌ	370Ｌ	300Ｌ	370Ｌ
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200Ｖ			
	深夜電力 ヒータ用	単相200Ｖ			
	深夜電力 制御用	単相200Ｖ			単相100Ｖ
定格消費電力	上部ヒータ ※1	5.4kW	4.4kW	3.5kW	ー
	下部ヒータ ※1	5.4kW	4.4kW	3.5kW	4.4kW
	制御用	10W ※2			5W ※3
	凍結防止ヒータ	60W			
外形寸法	高さ	2200mm	1880mm	1870mm	1880mm
	幅	630mm	630mm	600mm	630mm
	奥行き	730mm	730mm	610mm	730mm
質量	製品質量	81kg	71kg	62kg	68kg
	満水時質量	541kg	441kg	362kg	438kg
最大使用圧力		190kPa			97kPa
通常使用圧力		170kPa			80kPa
安全装置		自動温度調節器 温度過昇防止器 漏電ブレーカ 過圧防止弁 空だき電極			自動温度調節器 温度過昇防止器 漏電ブレーカ 過圧防止弁
配管口径		給水口、出湯口→Ｒ３/4（おねじ）			
沸上げ温度		約65℃～約85℃			
貯湯機能		深夜のみ おまかせ 満タン			深夜のみ 満タン

※1　上部ヒータと下部ヒータが同時に通電することはありません。
※2　台所リモコン接続時の消費電力です。
※3　別売品台所リモコン未接続時の消費電力です。

保証とアフターサービス

●故障、修理については、お買い求めの販売店、工事店または株式会社コロナにご連絡ください。指定の取扱販売店、工事店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

据付工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず指定部品をご使用ください。

保証について

○保証書は電気温水器に添付されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。

○保証期間はお買いあげいただいた日から2年間です。
ただし缶体内部のヒーターは３年間、缶体は5年間です。

○次のような原因による故障及び、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

●誤った使用方法による故障や事故。
●一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
●水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。
（故障や水漏れの原因になります。）
●凍結による故障・破損。

修理を依頼されるとき

○本書の「故障かなと思ったとき」（→44～45ページ）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い求めの販売店、又は、0120-917-567（365日24時間受付け）の窓口にご連絡ください。

●保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは…

●お買い求めの販売店にご相談ください。

●修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料修理いたします。

〒955-8510　新潟県三条市東新保7-7　　TEL(0256) 32- 2111 (大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは　0120-917-567（365日24時間受付け）

225WA3037-00